



# 浦和大里小学校だより

6月号 令和6年5月31日発行

教育目標  
夢と希望をもち、  
人間性豊かで  
心身ともに  
たくましい子の育成



「みてみて、メダカがいるよ」  
(1～2年生の学校探検)

## 見ようとしなければ見えない

校長 中野 緑

「先生、ベニカナメモチのところに、ボールが入ってしまったのでとってください。」

「ベニカナメモチ」という名前を知ったのは、教員になって5年目のことでした。垣根によく使われている、秋になると美しい紅色に葉の色が変化する低木です。恥ずかしながら、子どもに教えられ、その低木が「ベニカナメモチ」という名前であることは知りませんでした。もっといえば、「ベニカナメモチ」の存在すら目に入っていなかったといっても過言ではありません。不思議なことに、「ベニカナメモチ」という名前を知ったとたん、あちらこちらの家の生垣のベニカナメモチが目につき始めました。ただの景色だった生垣から「ベニカナメモチ」が浮かび上がってくるようです。

「あれは夏の大三角形。白鳥座。」子どもの頃、通っていたスイミングの帰り道のことでした。自転車を止めて、夜空を指さし、友だちが教えてくれました。不思議なことに、星座の名前を知ったら、空を見上げ、その星を探すようになりました。そして、今までも、ずっとそこにあったはずの星が、その日を境に急にくっきりと見えるようになりました。

私たちの生活の中には、見ようとしなければ見えないものがたくさんあります。浦和大里小学校では、子どもたちの「よさ」「努力」を認め励ますことを中心に据えた指導の充実を、本年度の重点としています。多くの大人が子どもたちにかかわる中で見つけた素敵な姿を積極的に伝え合い、声をかけ、安心して自分を発揮できる環境を整えることで、子どもたちには自分や周囲の人が幸せになるアイデアを出し、実行する経験を積んでほしいと願っています。

先月行われた個人面談も、保護者の皆様からご家庭での様子や成長してきた姿、お子様への期待や願いなどを伺うことで、子どもたちの「よさ」を中心に見えなかった部分に光を当てることを目的の一つとしていました。子どもたち一人ひとりのよりよい成長を願う気持ちは学校も保護者も一緒です。個人面談週間に限らず、不安なこと、相談したいことなどについて解決の方策をともに考える機会はいつでももつことができます。教育相談日なども積極的に利用し、ともに子どもの成長の様子をしっかりと見て、共有してまいりましょう。

\*学校ホームページ「学校生活」では、浦和大里小の日々の様子を発信しています。どうぞご覧ください。